

国際機関への拠出金等に関する PDCAサイクルの在り方

平成26年11月13日

外務省国際協力局 地球規模課題総括課
緊急・人道支援課

国際機関の分担金・拠出金

1 国際機関の分担金・拠出金とは

- 分担金**: 国際機関の設立条約等により, 各加盟国が支払を国際法上義務づけられる資金。主として, 機関の運営費や事業費等に充当される。
- 拠出金**: 必要性, 効率性, 有効性を踏まえた政策的考慮に基づき拠出する資金。そのうち, 用途を指定し, 特定国・地域, 特定分野の事業の実施経費に充当するものをイヤーマークと呼ぶ。

2 国際機関への拠出の意義

- 国際機関が幅広いネットワークや実績を有する地域・分野においては, 国際機関を活用することにより, 現地ニーズに迅速に対応した支援が可能となり, 地球規模課題の解決に, より効率的かつ効果的に貢献できる。
- 専門的知見を有する国際機関と連携し, 国際的な規範や国際世論の形成を主導することにより, 効果的に日本の重要な外交政策を遂行することができる。

UNDPに関するPDCAサイクル

UNTFHSに関するPDCAサイクル

3

【UNDP拠出金（パートナーシップ基金）】

- 日・UNDP連携を強化し、二国間援助に補完的かつ相乗効果を生み、邦人職員育成に資する事業を実施。
- 日・UNDP連携による、地球規模課題解決への貢献。

<成果指標>

- ①各事業の目標達成
- ②日本とUNDP連携の維持・強化
- ③邦人職員増強

<評価・公開>

- ・最終報告書を評価
- ・内部評価報告書、外部監査報告書を評価（UNDPのHPに公開）
- ・執行理事会、戦略対話等で成果評価



【人間の安全保障基金（UNTFHS）拠出金】

- 人間の安全保障の概念の普及と主流化。
- 地球規模の諸課題に対処するための概念である人間の安全保障をパイロット事業で実践。

<成果指標>

- ①国際機関内での人間の安全保障の概念普及と主流化
- ②人間の安全保障を確保を実践するパイロット事業の展開

<評価・公開>

- ・我が国による評価報告書、内部監査報告書を公開
- ・諮問委員会、人間の安全保障ユニットとの対話で成果確認



事業レベルのPDCA（UNDP）

事業レベルのPDCA（UNTFHS）

- ・日・UNDP戦略対話で、重点分野を策定
- ・事業計画精査、必要に応じ修正、承認（数値目標を導入）
- ・拠出必要性精査

Plan
[計画段階]

- ・案件実施
- ・モニタリング（進捗報告書確認、在外公館による現地視察等）
- ・ビジビリティ確保・広報（ODAマーク、掲示、プレスリリース発出）

Do
[実施段階]

- ・UNDP執行理事会、日・UNDP戦略対話、政務レベルを含む不定期の協議を通じて、事業及び基金運営を改善

Act
[フォローアップ]

- ・最終報告書（非公開）から目標達成状況の評価
- ・内部評価報告書、外部監査報告書（UNDP・HP上で公開）の評価（関係公館・本省にて）

Check
[評価段階]

- ・我が国の問題意識や支援関心分野を諮問委員会で提示
- ・人間の安全保障ユニットはプロポーザル審査
- ・承認事業について、我が方に通報

Plan
[計画段階]

- ・基金は各国連機関に拠出
- ・案件実施

Do
[実施段階]

- ・運営委員会
- ・在外公館が運営委員会に参加し、問題点や改善点を検討。

Act
[フォローアップ]

- ・各国国際機関による共同の進捗状況報告及び最終報告書による評価
- ・在外公館による確認

Check
[評価段階]

UNIDOに関するPDCAサイクル

UNHCRに関するPDCAサイクル

4

【UNIDO分担金】

- 開発途上国における工業開発の促進。
- UNIDOは、アフリカ支援、環境・エネルギー等の我が国外交政策実現のための有用なパートナー。

<成果指標>

- ①開発途上国の工業生産の数値
- ②我が国のプレゼンス拡大を通じた開発途上国の工業開発促進への貢献(邦人職員増強)



<評価・公開>

- ・外部監査報告書や年次報告書(UNIDO公式HPに掲載)により運営、活動全般を評価。

【UNHCR拠出金】

- 難民に国際的保護(水、食糧、住居、教育の提供等の生活支援等)を提供し、自主的帰還又は新しい社会への同化を通じて難民問題の恒久的解決を図る。

<成果指標>

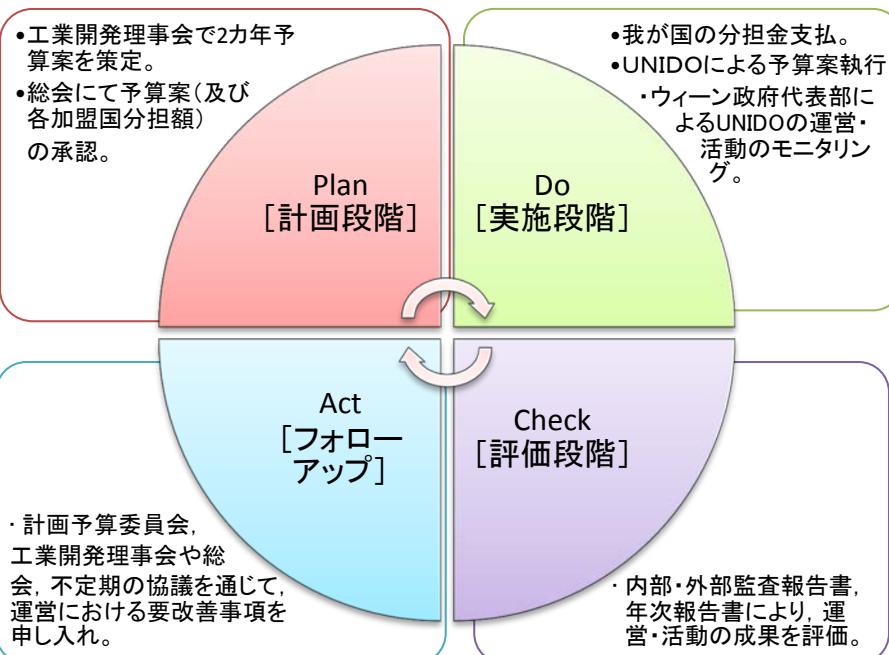
- ①裨益難民等数
- ②邦人職員増強
- ③我が国の外交政策の反映



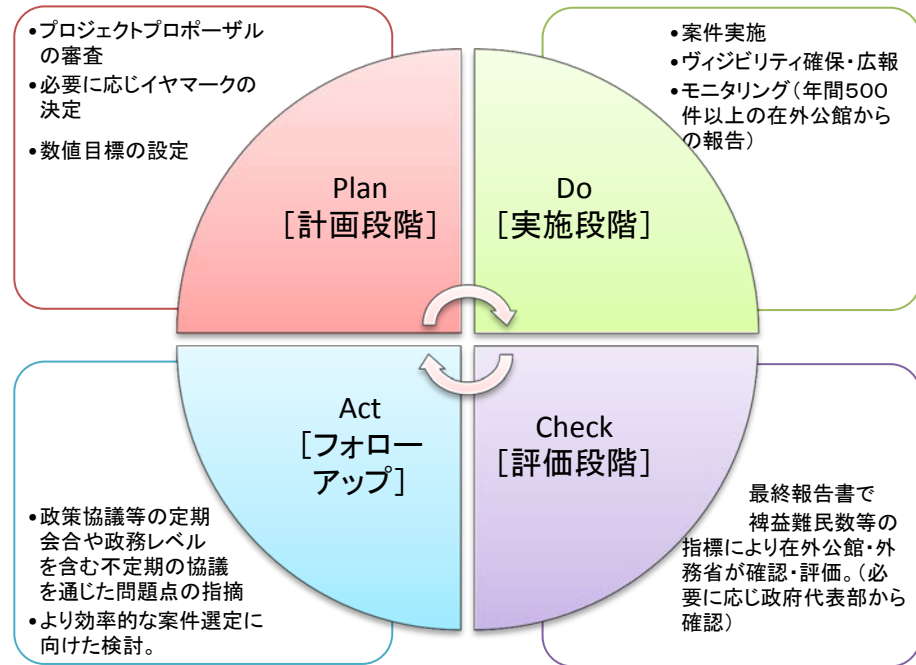
<評価・公開>

- ・各種報告書を評価
- ・MOPAN(国際機関評価ネットワーク)の評価も参照。
- ・執行理事会、バイ会談、政策対話での成果確認。
- ・国際機関への評価を公開
- ・重要演説での言及

事業レベルのPDCA(UNIDO)



事業レベルのPDCA(UNHCR)



【UNDP拠出金（パートナーシップ基金）】



ジャーナリスト訓練の様子
©SPCBN/UNDP Nepal

「ネパール・メディア支援プロジェクト」

●概要: ネパールの民主化において重要な役割を果たすメディアの育成。

●評価: 事業目標どおり、ジャーナリスト400人の育成、ジャーナリスト700人以上のネットワーク構築、ジャーナリズム訓練マニュアルの整備が達成されたと評価。また、本件は、邦人職員の昇進にも貢献した。また、本件に関与した邦人職員（ネパール事務所長: 当時）は、モルディブ常駐調整官に昇進した。邦人職員の育成にも貢献。

【人間の安全保障基金拠出金】



農業指導の様子。©UNTFHS

「北部ウガンダ早期復興計画」 実施機関: UNDP, WHO, WFP

●概要: 内戦終結後の緊急人道支援から復興への移行過程で、帰還民支援と受け入れコミュニティの持続的開発を支援。

●評価: 約900名の農業指導員研修等により生計向上につながった。5歳以下の子ども約1万2千人への予防接種等を通じ保健状態が改善。女性や若者を巻き込んで対話メカニズムを設立し、住民間の和解に貢献。

【UNIDO分担金】



マイクロ水力発電機
©UNIDO

「インド・マイクロ水力発電案件」

●概要: 我が国企業の技術を活用し、マイクロ水力発電機を設置、また、発電機の維持・管理のための現地関係者トレーニングを実施。

●評価: 事業実施地域のクリーンエネルギー導入の推進に貢献。また、優れた日本中小企業の技術の普及を実現し、企業の海外への事業展開を促進する案件として評価。

【UNHCR拠出金】



左から2人目は同案件で難民登録部門に従事する邦人女性職員。

なお、中央は岸田大臣、その隣はグテーレス高等弁務官。

©UNHCR

「ヨルダンにおけるシリア難民支援プロジェクト」

●概要: ヨルダン国境地域に避難するシリア難民を保護。

●評価: 当初の計画以上の人数に対し保護が付与された（12000人の難民に財政支援を行うとともに、6000人へのテント付与、15000人への毛布供与、5000人への医療ケア提供等を実施した。）また、邦人女性職員の参加を通じ、平和と安全保障分野における女性の参画の推進、日本のビジビリティ確保、邦人女性職員の育成、さらに日本企業のCSR活動との円滑な連携にも寄与。